

第 42 回東日本トランポリン競技選手権大会開催要項

期 日	平成 30 年 9 月 7 日（金）～9 日（日） <u>※サブ会場とメイン会場を用いた競技進行を予定しております。</u> <u>また、7 日（金）はサブ会場・メイン会場における公式割り当て練習</u> <u>および監督会議を行う予定です。</u>
場 所	ヤマト市民体育館前橋 群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 7 TEL : 027-265- 0900
主 催	東日本トランポリン協会
主 管	群馬県体操協会トランポリン部
後 援	公益財団法人日本体操協会（予定） 群馬県・群馬県教育委員会・（財）群馬県スポーツ協会・前橋市・前橋市教育委員会 （一財）前橋市スポーツ協会・前橋スポーツコミッション
競技種目	A クラス（個人競技・シンクロナイズド競技）男女 B クラス（個人競技・シンクロナイズド競技）男女 C クラス（個人競技）男女
競技方法	1 個人競技（A． B． C クラス男女） 各クラス 1 回の予選自由演技を行い、各クラスの出場者数に応じて決勝進出者を下 記のとおりとするものとする。 出場者数 13 名以上⇒上位 10 名 出場者数 9 名～12 名⇒上位 8 名 出場者数 7 名～8 名⇒上位 6 名 出場者数 6 名以下 ⇒予選＝決勝とする 順位は、決勝得点のみで決定する（ゼロ点スタート）。 申込後のクラスの変更は認められない（但し、主催者側の誤りはその限りではない） <u>*選手技術の向上に資するための競技会という本大会の趣旨に基づき、出場クラスを</u> <u>降格しての出場は原則認めないものとし、選手は、本大会における過去最上位の出</u> <u>場クラスにて参加するものとします。</u> <u>なお、原則 5 年以上の本大会不参加期間を経た後の出場については、出場クラスの</u> <u>降格を認めるものとします。</u> <u>例) 昨年度 A クラス出場 → 今年度も A クラスでの出場</u> <u>5 年前に A クラスに出場、以降参加なし → 今年度は、クラスの降格可</u> <u>2 年前は A クラスに出場、昨年は B クラスに出場 → 今年度は A クラスで出場</u>

2 シンクロナイズド競技（A・Bクラス男女）

各クラス 1 回の予選自由演技を行い、各クラスの出場ペア数に応じて決勝進出者を下記のとおりとするものとする。

出場組数 13 組以上⇒上位 10 組 出場組数 9 組～12 組⇒上位 8 組

出場者数 7 組～8 組⇒上位 6 組 出場組数 6 組以下 ⇒予選＝決勝とする
順位は決勝得点のみで決定する（ゼロ点スタート）。

* 出場クラスは、個人競技と同じクラスとする。

* クラスの変更は認められない（但し、主催者側の誤りはその限りではない）

* 選手の変更は監督会議でのみ認められる。

3 得点算出方法

2017 年公益財団法人日本体操協会制定のトランポリン採点規則に一部本大会内規を適用する。

内規

・跳躍時間点に関する内規

個人競技における跳躍時間点は男女とも A・B クラスのみ採用する。

・難度制限に関する内規

A クラス：難度無制限

B クラス：6. 9 以下

ただし、選手の安全性確保の観点より、1 種目あたりの難度点の上限は 1.2 点とする。ただし、8-1< は、この制限の限りではないが、使用した場合、難度点を 1.2 点とする。

1 種目あたりの難度点の上限を超えた場合は失格とする。

C クラス：3. 9 以下

実施演技の難度点各クラスの難度基準を超えた場合は、各々難度基準を上限として難度点を計算するものとする。

・ダブルスポッターに関する内規

本大会においてはダブルスポッターを実施することは可能とするも義務化はしないものとする。

・演技開始時間に関する内規

2017 年公益財団法人制定のトランポリン採点規則に準ずるために廃止。

使用器具

国際体操連盟（FIG）公認ユーロトランポリン 4 x 4 mm ベッド

FIG 公認同時性得点、跳躍時間点測定装置

参加資格

新潟・長野・山梨・神奈川県以東の東日本の地域に在住、在勤の者で平成 30 年度の公益財団法人日本体操協会への選手登録を行った者

表彰	Aクラス 1位 : 優勝杯 ABCクラス 1位・2位・3位 : メダル、賞状 各クラス 4位・5位・6位 : 賞状
特別表彰	竹本杯：各クラス男子個人競技決勝進出者の中から、演技点・難度点各々で最高の得点を獲得した選手に授与される。 伊藤杯：各クラス女子個人競技決勝進出者の中から、演技点・難度点各々で最高の得点を獲得した選手に授与される。
参加料	個人競技 : 4,000円 シンクロナイズド競技（1チーム） : 5,000円
審判員に関して	参加団体ごと、参加人数に基づき、下記の通り原則1種審判員資格保有者を帯同していただきますようお願い致します。なお、1種審判員の帯同が不可能な場合、2種審判員の帯同も可能とします。（資格保留者は不可） 出場者3名以下の団体に限り、同じく出場者3名以下の団体と共同で審判員を帯同していただくことが可能です。 20名以上の参加団体 : 2名 19名以下の参加団体 : 1名 例）出場者2名の団体と出場者3名の団体が共同で審判員を帯同する場合 →出場者5名の参加団体とみなし1名を帯同 出場者3名の団体、7団体が共同で審判員を帯同する場合 →出場者21名の参加団体とみなし2名を帯同 審判員を帯同できない団体については、審判員招聘にかかる費用として、下記の負担金を納入ください。 20名以上の参加団体 : 10,000円 19名以下の参加団体 : 5,000円
撮影許可に関して	写真撮影は禁止、ビデオ等、映像の撮影に際しましては、大会参加申込み時に別紙撮影許可申請書をご送付ください。原則として各団体につき許可証の発行は2枚までといたします。なお、報道関係者を除き、当日の撮影許可申請はお受けいたしかねますのでご了承ください。

申し込み・振込先 群馬県体操協会トランポリン部 競技担当 藤本利美
郵送の場合：〒371-0847
群馬県前橋市大友町1丁目7-19 (有) マックス・ピュア内
E-mail : gunma_trampoline@wing.ocn.ne.jp
振込先 銀行名：群馬銀行 本店営業部
口座番号：普通 2568001
口座名義：群馬県体操協会トランポリン部 大会事務局
代表者 平林 洋子

申込・振込期日 平成30年8月10日(金)(郵送の場合、必着)
なお、電話、FAXでのお申し込みは受け付けておりません。
昼食に関しましては、別紙、ご案内に基づき、お申し込みください。

付 記 万一の事故にそなえ、主催者側では保険への加入はいたします。
また、怪我発生の際の応急処置は本部で行いますが事故の責任は、一切負えませんので、予めご了承下さい。

お問合せ 東日本トランポリン協会 事務局
(有) マックス・ピュア内
E-mail : gunma_trampoline@wing.ocn.ne.jp
※お問合せに関しましては、原則メールにてお願い致します。

平成30年7月吉日

関係各位

東日本トランポリン協会
会長 伊藤 直樹
理事長 山崎 博和

協賛広告・協賛寄付金のお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、下記の通り第42回東日本トランポリン競技選手権大会を開催する運びとなりました。本大会は東日本地域におけるトランポリン競技の普及、発展、競技者育成を目的とした大会でございます。しかしながら開催にあたり多額の運営経費が必要となります。充実した意義ある大会とさせていただきたく、趣旨御賛同の上、ご協力頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

大会名	第42回東日本トランポリン競技選手権大会
主催	東日本トランポリン協会
主管	群馬県体操協会トランポリン部
期日	平成30年9月7日(金)8日(土)9日(日)
会場	ヤマト市民体育館前橋
広告料	A4サイズ 1/4 5,000円 1/2 10,000円 1面 30,000円
協賛寄付金	2,000円(1口) *プログラムにお名前を記載いたします。
申込方法	下記申込書に御記入の上、広告原稿と一緒に送付して下さい。 尚、原稿・指定文字・マーク等がない場合は、主管協会一任で作成いたします。
申込先	群馬県体操協会トランポリン部 競技担当 藤本利美 宛 〒371-0847 群馬県前橋市大友町1丁目7-19 (有)マックス・ピュア内 E-mail : gunma_trampoline@wing.ocn.ne.jp 郵送またはE-mailにてお申し込みください。
振込先	群馬銀行本店本店 普通口座 2568001 群馬県体操協会トランポリン部大会事務局 代表 平林洋子

協賛広告・寄付金申込書

平成30年 月 日

第42回東日本トランポリン競技選手権大会の趣旨に賛同し、下記の通り申し込みます。

協賛広告 A4サイズ 1/4 ・ 1/2 ・ 1面 (円)
協賛寄付 口 (円)

申込者名 _____
広告・寄付者名 _____
住所 _____
電話番号 _____